

群馬県立近代美術館 企画展

令和5年1月12日 群馬県立近代美術館 電話:027-346-5556

## アートのための場所づくり

1970 年代から 90 年代の群馬におけるアートスペース

この展覧会では、県内5つのアートスペースをとりあげます。 新たな創造を生み出す場としての各スペースの歴史とアートシーンに果たした役割を 検証します。

〈煥乎堂ギャラリィ〉 [1954-2005]

20世紀後半を通して多様な展覧会やイベントを開催し、作家や文化人が分野を超えて集う場となった。

前橋

〈ぐんまアートセンター〉 「1974-1980] 前橋

作家が自由に使用できるスペースとして、参加作家の会費により運営された。

〈コンセプトスペース〉 「1982- ] 渋川

生活と美術を同じ目線でとらえようと、長屋を会場として現在も福田篤夫が企画活動を続ける。

〈アートハウス〉 [1987-2002] 沼田/高崎/前橋

場所と運営メンバーを更新しながら展覧会・イベントを企画・実施した。

**(北関東造形美術館)** [1992-2001] 前橋

白川昌生らによる「場所・群馬」の活動拠点になるとともに積極的に海外作家を招聘した。

**会** 期 令和5年1月21日(土)~4月9日(日)

会 場 群馬県立近代美術館 展示室1、ギャラリー

開館時間 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館 日 月曜日

観覧料 一般700(560)円 大高生350(280)円※( )内は20名以上の団体割引料金※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

主 催 群馬県立近代美術館

## 今回のトピックス

- 1 5つのアートスペースの活動の全貌を紹介
- 2 記録写真や展覧会案内状など豊富な資料を展示
- 3 当時発表された作品により、各時代の表現の特徴を浮き彫りに
- 4 20 世紀後半から現代につながる県内の美術動向を紹介

## 問い合わせ先

群馬県立近代美術館 〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町 992-1

TEL.027-346-5560 FAX.027-346-4064



県立近代美術館 HP (https://mmag.pref.gunma.jp/)



高田博厚《美しきエミーII》1963 年 群馬県立近代美術館蔵



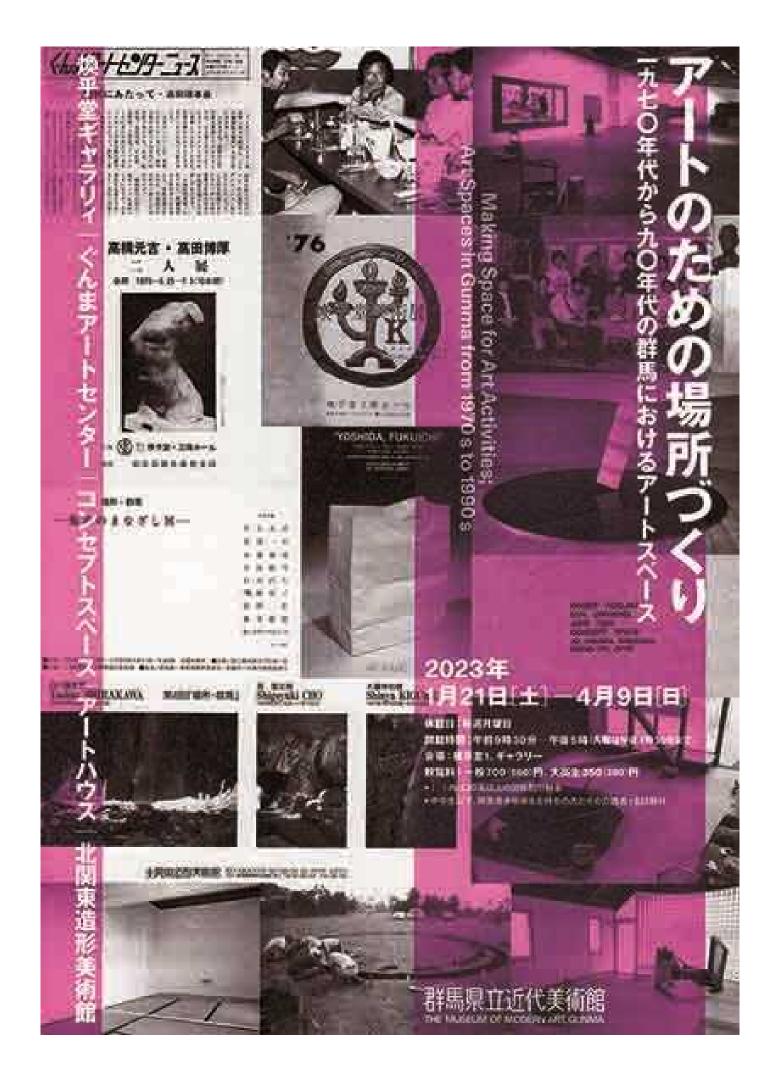
榎倉康二《干渉》1990年



白川昌生《赤-彫刻》1987年 群馬県立近代美術館蔵





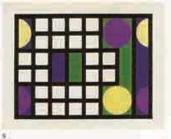
























1:複倉康二(干海)1996年、アクリル境料・カーペット、豚茶、個人議『コンセプトスペースでの統派拡放』| 2:吉田第 久--(Nature's Engineering No.443) 1996年、アクリル・和田、アルミ動立、作家政「ノイエス朝日での展示無数」 3:白州昌生(赤一駅間) 1987年、オイルバステル、鉛幣・紙、鉄路路立近代委組館織(4:高田博厚(美しきエモー目) 1963年、セメント、著作、群馬県立並代美術祭蔵 (5:河内共紀一(無題)1977年、他彩・カングッス、作家職 【資料】A:「第1回一元会員」バンフレット、幾乎党、1971年「B:「アートハウスの10年」展リーフレット、アートハウス。 1998年) C:「徳2回場所・部馬」展案内ハガキ。北田東道形炎術館、1995年)D:「開展券紅の16扇のほなの詩によ S級興級・全子光像セリグラフ級」解内状。ぐんまアートセンター、1974年 | 新:「しぶかわ野外美術製」テラシ、コンセブ 1286年11985年

関連イベント

担当学芸員による連続講座 煥乎堂ギャラリィ 1月29日日 ぐんまアートセンター 2月11日 土·祝 コンセプトスペース 2月26日日 アートハウス 3月26日日 4 北関東造形美術館 4月9日日

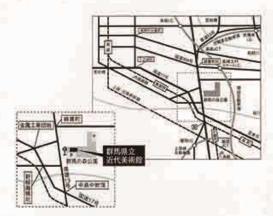
時間:14:00-15:00 | 会場:当館2階 講堂 | 定員:100名(先着順)【練講解料・中込不要】

 新型コロナウイルスの感染状況等により開催を中止または内容を変更する場合があります。 政務情報は当額ホームページでご確認いただくか、お問い合わせください。

明治初期に創業した書店、煥乎堂は、前橋の店舗内で古くか ら美術展などを開催し、1960年代後半に白井晟一設計の新 店舗にギャラリー専用スペースが設けられると、年間を通して さらに多彩な展示を行うようになります。そこでは群馬県関係 作家を中心に広く国内外の美術が紹介され、特に創業家の 高橋元吉と縁の深い高田博厚を中心とした一元会展や県関 係作家をセレクトした幾乎堂美術展といったアニュアル展は、 その活動を特徴づけるものとなっていきました。

20世紀後半を通して作家や文化人が分野を超えて集い交流 する場となった〈煥乎堂ギャラリィ〉のほかにも、群馬県内には これまで様々な"アートのための場所"がつくられてきました。 1970年代の(ぐんまアートセンター)、80年代から現在も活動 を続ける(コンセプトスペース)、80年代から2000年頃まで活 動した〈アートハウス〉は、すべて作家主体で運営され、地域の 作家たちに発表の場を提供するだけでなく、国内外の同時代 美術を紹介する役割を果たしてきました。さらに90年代、白川 昌生らによる「場所・群馬」の活動拠点になると同時に積極的 に海外作家を招聘した〈北関東造形美術館〉は、専門学校の 付属施設としての役割を超えた独自の活動を展開しました。 この展覧会では、〈煥乎堂ギャラリィ〉を中心に1970年代から 90年代に群馬県内で活動した主なアートスペースの歴史を 振り返り、多様な人々が集い、新たな創造を生み出す場となっ

たそれぞれのスペースの特質や県内アートシーンに果たした



[交通案内]

役割を検証します。

電車・バス JR高級線・適由新容ライン・上野東京ラインまたは上越・北陸新幹線で高級駅下車 (計算録は東京駅より約40分)。18 高級駅東口より、市内指環バスぐるりん「群馬の番鐘」9 基映 (約34) 分)、10系統(約26分)、または「公昌県」15系統(約25分)で、いずれも「部馬の森」下車(200円)。 JR海崎駅東口よう約20分。JR新町駅より約10分。

開韓自動車道の「高哨を村スマートLC。](ETCのみ)より。議道354号を高輪が前に向 かい、結連18号を左折し約8分。上信総自動車通の「藤岡もC、」高端方面出口より出て、私連13号 を前離方面に突かい約10分。北関東台数率进め「前橋南1.C.」とり、県置13号に出て蘇岡方面に 向かい約15分。県立公園「アイ・ディー・エー郵馬の森」大駐車場をご利用ください(無料)。

《欢问展覧会予告》 杉浦非水 時代をひらくデザイン 2023年4月22日[土]-6月18日[日] 『群馬県立館林美術館のご案内 山中県 描かれた詩 2023年1月28日[土]-4月2日[日]

THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA

〒370-1293 高峰市脇賃町 992-1 | Tel. 027-346-5560 | Fax. 027-346-4064 https://mmag.pref.gunma.jp